



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社 CDG
 コード番号 2487 URL <https://www.cdg.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大平 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 山川 拓人

TEL 06-6133-5200

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,589	8.9	124	49.4	136	42.9	100	41.2
29年3月期第2四半期	5,036	9.9	246	6.7	238	0.3	170	9.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 169百万円 (6.4%) 29年3月期第2四半期 180百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	17.10	16.92
29年3月期第2四半期	29.22	29.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,764	5,034	74.1
29年3月期	7,465	5,029	67.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,009百万円 29年3月期 5,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		30.00	30.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	0.4	700	4.0	700	2.1	485	0.5	82.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	6,240,000 株	29年3月期	6,240,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	364,456 株	29年3月期	371,456 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	5,872,211 株	29年3月期2Q	5,844,230 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) 生産、仕入及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の回復、雇用環境の改善が続くなど穏やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速や、米国新政権の政策動向に加え、国内政策に関する不確実性による影響等によって、日本国内の景気を下押しするリスクを抱えております。

このような経済環境のもと、当社グループが属するセールスプロモーション市場におきましては、消費マインドを刺激するために、各企業がセールスプロモーションに積極的な姿勢を維持していることから、市場は堅調に推移しており、特に当社グループも関連するインターネット広告市場は、スマートフォン市場の成長や動画広告、新しいテクノロジーを活用した広告配信の浸透等を背景に引き続き高い成長を遂げております。

このような環境の中、当社グループでは、当社の強みであるセールスプロモーショングッズの企画・供給に加え、WEB、コンテンツ企画、システム開発、サプライチェーンマネジメント、コンサルティングなどの機能を備えることで、リアル（店頭）とデジタルの融合化によるワンストップサービスの強化を推進してまいりました。具体的には消費者と店頭商品をつなげるSNSの機能を組み込んだ当社グループ独自のサービスを開発したことにより、消費者のキャンペーン参加率向上に寄与できたことから多くの受注を獲得できております。今後は業務提携等により、デジタル領域を拡大させていくとともに、当社の得意とする店頭施策を組み合わせた企画提案を行うことで顧客の営業活動を強力にサポートしてまいります。

次に、業界別の販売状況としましては、ファッション・アクセサリ業界及び化粧品・トイレタリー業界において売上を伸ばすことができました。主要顧客でのグッズ需要を着実に取り込めたことに加え、人気キャラクターとのタイアップ企画による店頭施策に対して、WEBテクノロジーを融合したことで販売領域の拡大に成功しました。一方、流通・小売業界及び製薬業界においては、売上が大きく減少いたしました。流通・小売業界では前年同期において、大型のタイアップ企画が採用され実施されましたが、当第2四半期連結累計期間においては同規模の案件が発生しなかったことから大きく減少する結果となりました。加えて、製薬業界では、新規領域での拡充を図っているものの、製薬業界全体でのプロモーショングッズの取扱減少による影響を補完するに至らず、売上高は減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、ファッション・アクセサリ業界向け及び化粧品・トイレタリー業界向けを中心に売上を伸ばすことができましたが、流通・小売業界向け及び製薬業界向けの売上の減少を補うに至りませんでした。また、顧客のプロモーション手法の多様化によりグッズ単独での需要は減少傾向であることから、当社グループではSNSを活用した新規ツールの開発や物販分野への進出にも着手しておりますが、当第2四半期連結累計期間においては、開発に注視したため直接実績につながるものが少なく、売上高は4,589百万円（前年同期比8.9%減）と減収になりました。販売費及び一般管理費においては、予算執行の厳格化を継続的に実施し、経費削減に努めた結果、1,213百万円（同0.3%減）と微減となりましたが、減収減益により営業利益は124百万円（同49.4%減）、経常利益は136百万円（同42.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は100百万円（同41.2%減）となりました。

なお、当社グループは、顧客の営業上の課題に基づいたセールスプロモーションの企画及び提案を行う単一の事業分野において営業活動を行っておりますので、セグメント情報の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,564百万円(前連結会計年度末6,455百万円)となり、890百万円減少しました。主な要因は、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が1,064百万円減少したためであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は1,199百万円(同1,010百万円)となり、188百万円増加しました。主な要因は、満期保有目的債券の取得及び時価の増加により投資有価証券が189百万円増加したためであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,398百万円(同2,125百万円)となり、726百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が526百万円、未払法人税等が83百万円、その他流動負債が58百万円減少したためであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は330百万円(同311百万円)となり、19百万円増加しました。主な要因は、役員退職慰労引当金が9百万円減少しましたが、繰延税金負債が28百万円増加したためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は5,034百万円(同5,029百万円)となり、5百万円増加しました。主な要因は、剰余金の配当が親会社株主に帰属する四半期純利益の獲得を上回ったことにより株主資本が67百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が67百万円、新株予約権が4百万円増加したためであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加377百万円、投資活動による資金の減少22百万円、財務活動による資金の減少168百万円等により、前連結会計年度末と比較して187百万円増加し、2,194百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は377百万円(前年同四半期連結累計期間は221百万円の増加)となりました。主な要因は、仕入債務の減少額が526百万円、たな卸資産の増加額が116百万円、法人税等の支払による支出が121百万円となりましたが、税金等調整前四半期純利益が143百万円となり、売上債権の減少額が1,064百万円となったこと等により増加したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は22百万円(同52百万円の減少)となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出が10百万円、敷金の差入による支出が8百万円となったこと等により減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は168百万円(同136百万円の減少)となりました。主な要因は、配当金の支払による支出が176百万円あったことにより減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績に鑑みて、平成29年5月11日に開示した内容から売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ下方修正しております。詳細につきましては平成29年9月15日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,252,129	3,439,501
受取手形及び売掛金	2,812,012	1,747,203
有価証券	89,816	-
制作支出金	123,070	221,660
製品	5,549	12,119
原材料	19,088	30,111
繰延税金資産	56,580	39,850
その他	97,957	80,857
貸倒引当金	△913	△6,511
流動資産合計	6,455,290	5,564,794
固定資産		
有形固定資産	213,238	209,535
無形固定資産	23,637	18,809
投資その他の資産		
投資有価証券	357,929	547,182
繰延税金資産	5,487	5,795
保険積立金	168,839	173,429
敷金及び保証金	220,719	223,891
その他	24,076	24,076
貸倒引当金	△3,230	△3,230
投資その他の資産合計	773,821	971,145
固定資産合計	1,010,698	1,199,490
資産合計	7,465,988	6,764,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,640,264	1,113,727
未払法人税等	120,970	37,538
賞与引当金	133,300	97,200
役員賞与引当金	22,000	-
その他	208,876	150,023
流動負債合計	2,125,411	1,398,489
固定負債		
繰延税金負債	41,889	70,720
退職給付に係る負債	89,625	89,486
役員退職慰労引当金	179,809	170,743
固定負債合計	311,324	330,949
負債合計	2,436,735	1,729,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,000	450,000
資本剰余金	88,897	93,450
利益剰余金	4,512,175	4,436,507
自己株式	△213,182	△209,165
株主資本合計	4,837,889	4,770,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,004	233,126
繰延ヘッジ損益	110	177
為替換算調整勘定	6,051	6,421
退職給付に係る調整累計額	△2,431	△1,348
その他の包括利益累計額合計	169,735	238,377
新株予約権	21,629	25,674
純資産合計	5,029,253	5,034,845
負債純資産合計	7,465,988	6,764,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,036,917	4,589,832
売上原価	3,573,516	3,251,659
売上総利益	1,463,401	1,338,173
販売費及び一般管理費	1,217,329	1,213,583
営業利益	246,071	124,589
営業外収益		
受取利息	800	304
受取配当金	3,858	4,598
受取手数料	-	2,106
為替差益	-	1,949
受取保険金	-	1,263
新株予約権戻入益	2,001	-
その他	2,006	1,583
営業外収益合計	8,666	11,806
営業外費用		
支払利息	71	22
為替差損	14,758	-
その他	1,264	4
営業外費用合計	16,093	26
経常利益	238,644	136,369
特別利益		
保険解約返戻金	12,292	7,351
特別利益合計	12,292	7,351
税金等調整前四半期純利益	250,937	143,720
法人税、住民税及び事業税	68,960	27,801
法人税等調整額	11,227	15,530
法人税等合計	80,188	43,331
四半期純利益	170,748	100,388
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,748	100,388

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	170,748	100,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,038	67,122
繰延ヘッジ損益	152	66
為替換算調整勘定	△3,806	370
退職給付に係る調整額	531	1,083
その他の包括利益合計	9,916	68,642
四半期包括利益	180,665	169,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,665	169,031
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、顧客の営業上の課題に基づいたセールスプロモーションの企画及び提案を行う単一の事業分野において営業活動を行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(1) 生産、仕入及び販売の状況

当社グループは、顧客の営業上の課題に基づいたセールスプロモーションの企画及び提案を行う単一の事業分野において営業活動を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の情報は記載はしていません。

① 生産実績

当社グループの販売するセールスプロモーショングッズは広範囲かつ多種多様であり、同様の製品であっても仕様が一樣ではなく、またポケットティッシュ以外の受注商品の製作につきましては全て外注先に委託しております。なお、当社グループで販売するポケットティッシュについて、その多くを当社の連結子会社である株式会社岐阜県クリエイトにおいて生産しております。当第2四半期連結累計期間における、当社グループで生産しているポケットティッシュの生産実績を示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千個)	前年同四半期比(%)
ポケットティッシュ	73,810	98.6
合計	73,810	98.6

(注) 千個未満は切り捨てております。

② 仕入実績

当社グループでは価格競争力を強化するため、一部の商品について中国より直接購買を行っております。当第2四半期連結累計期間における、当社グループにおける国内での仕入実績及び中国からの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

地域	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
国内仕入	2,943,063	91.6
海外(中国)仕入	357,629	92.7
合計	3,300,693	91.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における、当社分類による顧客所属業種別に販売状況を示すと、次のとおりであります。

分野	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
自動車・関連品	729,316	106.9
化粧品・トイレットリー	452,166	125.3
情報・通信	420,255	111.0
薬品・医療用品	419,493	75.4
ファッション・アクセサリ	394,550	142.4
飲料・嗜好品	339,514	109.2
金融・保険	330,530	108.3
流通・小売業	324,001	39.5
外食・各種サービス	234,632	95.1
不動産・住宅設備	215,380	101.7
食品	165,391	90.8
その他	564,600	80.2
合計	4,589,832	91.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。